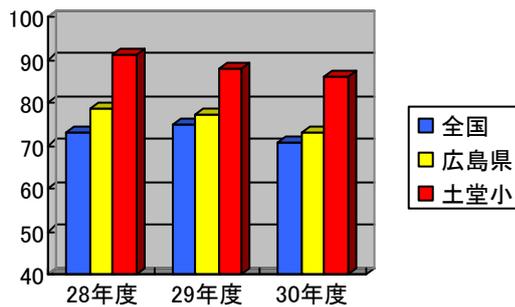


全国学力・学習状況調査(平均正答率) ー第6学年ー

この調査は、全国の6年生の児童を対象として、学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童へ教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てるために実施している調査です。今年度は、国語科と算数科、理科について実施されました。

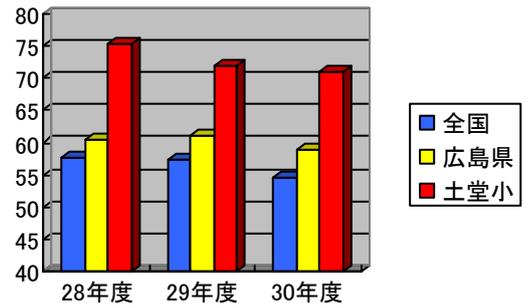
国語Aの平均正答率 (%)

	28年度	29年度	30年度
全国	72.9	74.8	70.7
広島県	78.4	77.0	73.0
土堂小	91.1	88.0	86.0
全国との差	+18.2	+13.2	+15.3



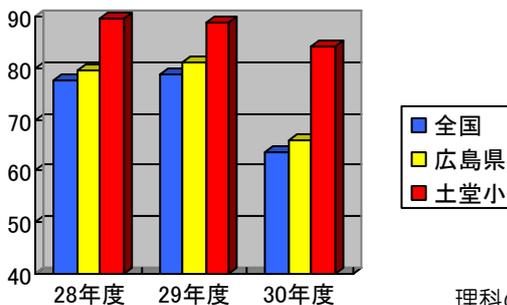
国語Bの平均正答率 (%)

	28年度	29年度	30年度
全国	57.8	57.5	54.7
広島県	60.5	61.0	59.0
土堂小	74.5	72.0	71.0
全国との差	+16.7	+14.5	+16.3



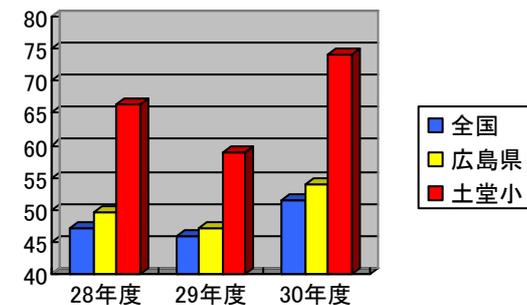
算数Aの平均正答率 (%)

	28年度	29年度	30年度
全国	77.6	78.6	63.5
広島県	79.7	81.0	66.0
土堂小	89.5	89.0	84.0
全国との差	+11.9	+10.4	+20.5



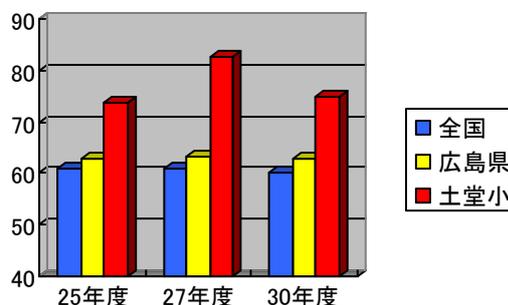
算数Bの平均正答率 (%)

	28年度	29年度	30年度
全国	47.2	45.9	51.5
広島県	49.5	47.0	54.0
土堂小	66.4	59.0	74.0
全国との差	+19.2	+13.1	+22.5



理科の平均正答率 (%)

	25年度	27年度	30年度
全国	60.9	60.8	60.3
広島県	62.9	63.2	63.0
土堂小	73.9	82.5	75.0
全国との差	+13.0	+21.7	+14.7



全国学力・学習状況調査について

全国平均に比べると国語科で 15 ポイント以上，算数科で 20 ポイント以上上回ることができた。「知識」「活用」ともおおむね定着が図られていると捉える。本校の目標（A問題全国平均+12，B問題全国平均+14）を達成することができた。

教 科	課 題	今後の取組
国語 A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 尊敬語，謙讓語，丁寧語の使い方に課題がある。→相手や場面に応じて適切に敬語を使うことができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常から，教師に対する言葉遣いや職員室での言葉遣いなど，意識的に指導するとともにモジュール教材を作成する。 ・ 目上の方に対して手紙を書く機会を設ける。 ・ 相手や場面に応じて敬語を使い分ける経験を重ねさせる。（研究会でお客さんを道案内させる等） ・ 家族を紹介させる場面（スピーチ等）を設定する。
国語 B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目的や意図に応じて，内容の中心を明確にして詳しく書くことに課題がある。 ・ 複数の資料から必要な条件を抜き出せていない。 ・ 正しい条件を選択できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要のない情報（情報量の多い問題）がある問題に慣れさせる。→終末での適応題，練習問題，宿題等を出す。 ・ モジュールの聞き取りで似たような読み取りの問題を出す。 ・ たくさんの文章を速く読ませる。→1 時間で解く問題を多くする。 ・ 読書を推進する。
算数 A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単位量当たりの大きさを求める除法の式と商の意味理解に課題がある。→（人数）÷（面積）の商が，何を求めているか理解できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 式の意味を理解させるために，図に表して式の意味を説明させる。言葉の式に整理し，求めている商について説明させる。
算数 B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 百分率を求めることに課題がある。→200 人のうち，80 人が小学生の時，小学生の人数は全体の人数の何%かを選ぶ問題ができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体（基準量）と部分（比較量）を捉える。百分率や歩合を用いて割合を表すことに慣れさせる。 ・ 問題を図に表させ，全体，部分，割合の関係を整理させる。 ・ 図を基に立式の理由を説明させる。 ・ フラッシュ等で，$0.4\% = 40\% = 4割$などのように，割合を表すことの習熟を図る。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乾電池のつなぎ方を変えると，電流の向きが変わることを，実際の回路に適用することに課題がある。→乾電池とプロペラを結ぶ導線のつなぎ方（回路全体）を捉えることができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 端子を乾電池の+極と-極のどちらにつないでいるか，児童と確認しながら実験を行う。ノートに回路図を書かせ，回路全体が見えるようにする。